

西東京市第 3 次総合計画 基本計画（案）

目 次

基本計画（総論）	1
1. 計画の位置づけ	2
2. 計画の期間	2
3. 人口と財政の見通し	3
(1) 人口の推移	3
(2) 財政フレーム	3
4. これまでの取組と評価	4
(1) 取組成果と市民による評価	5
(2) 施策評価結果	8
5. 今後のまちづくりに関する意見	9
(1) 市民意識調査・中学生まちづくりアンケート	9
(2) 市民参加	13
6. 計画を推進するために	16
7. 基本計画の構成	17
8. 計画の読み方	18
基本計画（各論）	19

基本計画（総論）

1. 計画の位置づけ

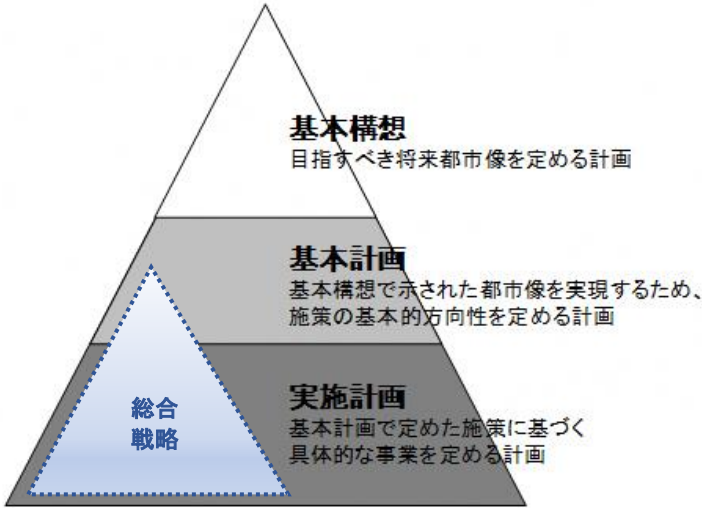
この基本計画は、基本構想で示した基本理念と基本目標を実現するため、施策の具体化・体系化を図り、各分野における現状と課題、目標や成果指標を示した上で、取組内容を明らかにするものです。

また、各行政分野における個別計画の整合性を図るための指針となるものです。

なお、本計画で示した施策体系に基づき、具体的な事業計画として、毎年度3ヵ年を期間とする実施計画を別に策定し、財政の裏付けをもって計画された事業を実行していきます。

基本構想、基本計画、実施計画の関係は次の図のようになります。

なお、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定する「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示すべき目標や施策との関係性を明確にすることにより、「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を内包した総合計画とします。



2. 計画の期間

基本計画の期間は、基本構想に基づき、令和6（2024）年度から令和15（2033）年度までの10年間とします。なお、令和11（2029）年度からの後期5年間の開始にあたっては、社会経済情勢の変化や基本計画事業の実施状況、行政評価の結果、新たな市民ニーズなども踏まえて見直しを行うこととします。

	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)
基本構想	基本構想									
基本計画	基本計画									
実施計画	（3ヵ年を計画期間として毎年度策定）									

3. 人口と財政の見通し

(1) 人口の推移

作成中

(2) 財政フレーム

作成中

4. これまでの取組と評価

「西東京市第2次総合計画（基本構想・基本計画）」（平成26（2014）年3月策定）では、わたしたちの望み（基本理念）として「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」を掲げ、その実現に向けたまちづくりを推進してきました。

また、平成31（2019）年3月には、前期5年間を総括し、社会経済情勢の変化や事業の実施状況、新たな市民ニーズなどを踏まえ、後期基本計画を策定しました。

第2次総合計画・後期計画に位置付けた施策について、成果指標の目標達成状況や市民意識調査（令和3年度実施）における施策ごとの満足度および重要度の結果を踏まえ、令和4（2022）年度に総合的な評価（施策評価）を行いました。

【総合評価について】

総合評価は、施策実施コストの方向性（重点化・現状維持・効率化）と施策内容の方向性（拡充・現状維持・絞込み）の判断に基づき、すべての施策を以下の9モデルに分類しました。

I：成果の向上を図るため、コストの重点化を行う施策領域

II：成果の向上を図りつつ、コストは現状維持する施策領域

III：成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域

IV：成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域

V：成果を維持しつつ、コストも現状維持する施策領域

VI：成果を維持しながら、コストを抑制する施策領域

VII：内容の見直しを図りつつ、コストの重点化を行う施策領域

VIII：内容の見直しを図りつつ、コストは現状維持すべき施策領域

IX：内容の見直しを図り、コストを抑制すべき施策領域

(1) 取組成果と市民による評価

■みんなでつくるまちづくり

【具体的な取組み成果】

- ・具体的な5年間における取組み成果を記載（箇条書き、または文章で）

※必要に応じて写真を掲載

【施策別の市民満足度・重要度の経年変化】

施策名	満足度					重要度				
	H29 / R3	H29		R3		H29 / R3	H29		R3	
		満足度	3段階評価	満足度	3段階評価		重要度	3段階評価	重要度	3段階評価
み1-1 市民主体のまちづくりの推進	↑	0.05	中	0.06	中	↓	0.64	低	0.54	低
み1-2 協働のまちづくりの推進	↑	-0.02	中	0.00	中	↓	0.64	低	0.60	低
み2-1 人権と平和の尊重	↑	0.06	中	0.08	中	↑	0.97	低	1.00	低
み2-2 国際化の推進	↑	0.00	中	0.03	中	↑	0.72	低	0.76	低
み2-3 男女平等参画社会の推進	↑	0.00	中	0.02	中	↑	0.83	低	0.90	低
み3-1 開かれた市政の推進	↓	0.31	高	0.27	高	↑	1.14	中	1.22	高
み3-2 健全な自治体の経営	↓	-0.03	中	-0.07	中	↑	1.32	高	1.33	高

■創造性の育つまちづくり

【具体的な取組み成果】

- ・具体的な5年間における取組み成果を記載（箇条書き、または文章で）

※必要に応じて写真を掲載

【施策別の市民満足度・重要度の経年変化】

施策名	満足度					重要度				
	H29 / R3	H29		R3		H29 / R3	H29		R3	
		満足度	3段階評価	満足度	3段階評価		重要度	3段階評価	重要度	3段階評価
創1-1 子どもの参画の推進	↓	0.02	中	0.01	中	↓	1.25	高	1.21	高
創1-2 子育て支援の拡充	↑	-0.04	中	-0.01	中	↑	1.39	高	1.40	高
創1-3 学校教育の充実	↑	-0.03	中	0.01	中	↓	1.37	高	1.35	高
創2-1 生涯学習環境の充実と主体的な学びの促進	↑	0.07	中	0.15	高	↓	0.98	低	0.96	低
創2-2 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	↓	0.12	高	0.02	中	↓	0.96	低	0.91	低
創2-3 文化芸術活動の振興	↓	0.23	高	0.11	中	↓	0.81	低	0.75	低

■笑顔で暮らすまちづくり

【具体的な取組み成果】

・具体的な5年間における取組み成果を記載（箇条書き、または文章で）

※必要に応じて写真を掲載

【施策別の市民満足度・重要度の経年変化】

施策名	満足度					重要度				
	H29 / R3	H29		R3		H29 / R3	H29		R3	
		満足度	3段階評価	満足度	3段階評価		重要度	3段階評価	重要度	3段階評価
笑1-1 地域福祉の推進	→	0.04	中	0.04	中	↓	1.14	中	0.99	低
笑1-2 高齢者福祉の充実	↑	0.03	中	0.05	中	↓	1.35	高	1.32	高
笑1-3 障害者福祉の充実	↑	0.02	中	0.03	中	↓	1.25	高	1.20	中
笑1-4 社会保障制度の運営	↑	-0.02	中	0.01	中	↓	1.21	中	1.19	中
笑1-5 暮らしの相談機能の充実	↑	0.05	中	0.06	中	↑	1.09	中	1.10	中
笑2-1 健康づくりの推進	↑	0.07	中	0.08	中	↓	1.26	高	1.23	高
笑2-2 高齢者の社会活動や 生きがいづくりの充実	↓	0.00	中	-0.01	中	↓	1.08	中	0.98	低
笑2-3 障害者の社会参加の拡大	→	-0.02	中	-0.02	中	↓	1.14	中	1.09	中

■環境にやさしいまちづくり

【具体的な取組み成果】

・具体的な5年間における取組み成果を記載（箇条書き、または文章で）

※必要に応じて写真を掲載

【施策別の市民満足度・重要度の経年変化】

施策名	満足度					重要度				
	H29 / R3	H29		R3		H29 / R3	H29		R3	
		満足度	3段階評価	満足度	3段階評価		重要度	3段階評価	重要度	3段階評価
環1-1 みどりの保全・活用	↑	0.27	高	0.32	高	↓	1.23	高	1.21	高
環1-2 みどりの空間の創出	↑	0.17	高	0.25	高	→	1.33	高	1.33	高
環2-1 地球温暖化対策の推進	↓	0.07	中	0.00	中	↓	1.13	中	1.04	中
環2-2 循環型社会の構築	↓	0.35	高	0.33	高	↓	1.39	高	1.37	高
環2-3 生活環境の維持	↓	0.13	高	0.10	中	↓	1.35	高	1.31	高

■安全で快適に暮らすまちづくり

【具体的な取組み成果】

・具体的な5年間における取組み成果を記載（箇条書き、または文章で）

※必要に応じて写真を掲載

【施策別の市民満足度・重要度の経年変化】

施策名	満足度					重要度				
	H29 / R3	H29		R3		H29 / R3	H29		R3	
		満足度	3段階評価	満足度	3段階評価		重要度	3段階評価	重要度	3段階評価
安1-1 住みやすい住環境の整備	↑	-0.12	低	-0.05	中	↑	1.11	中	1.13	中
安1-2 体系的な道路網の整備	↑	-0.45	低	-0.42	低	→	1.39	高	1.39	高
安1-3 人と環境にやさしい交通環境の整備	↑	-0.45	低	-0.22	低	↓	1.39	高	1.29	高
安2-1 災害や地域の危機に強いまちづくりの推進	↑	-0.12	低	-0.06	中	→	1.52	高	1.52	高
安2-2 防犯・交通安全の推進	↑	-0.08	中	-0.04	中	↓	1.37	高	1.31	高

■活力と魅力あるまちづくり

【具体的な取組み成果】

・具体的な5年間における取組み成果を記載（箇条書き、または文章で）

※必要に応じて写真を掲載

【施策別の市民満足度・重要度の経年変化】

施策名	満足度					重要度				
	H29 / R3	H29		R3		H29 / R3	H29		R3	
		満足度	3段階評価	満足度	3段階評価		重要度	3段階評価	重要度	3段階評価
活1-1 産業の振興	↑	-0.03	中	-0.01	中	↓	0.98	低	0.94	低
活1-2 新産業の育成	→	-0.12	低	-0.12	低	↓	0.77	低	0.75	低
活2-1 まちの魅力の創造	↑	-0.21	低	-0.19	低	↓	0.90	低	0.86	低

(2) 施策評価結果

全 34 施策を施策実施方針の 9 モデルに整理した結果は以下のとおりです。

I : 成果の向上を図るため、コストの重点化を行う施策領域	3 施策
II : 成果の向上を図りつつ、コストは現状維持する施策領域	8 施策
III : 成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域	0 施策
IV : 成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域	0 施策
V : 成果を維持しつつ、コストも現状維持する施策領域	20 施策
VI : 成果を維持しながら、コストを抑制する施策領域	1 施策
VII : 内容の見直しを図りつつ、コストの重点化を行う施策領域	0 施策
VIII : 内容の見直しを図りつつ、コストは現状維持すべき施策領域	2 施策
IX : 内容の見直しを図り、コストを抑制すべき施策領域	0 施策

		施策実施コストの方向性		
		重点化	現状維持	効率化
施策内容の方向性	拡充	【I】 成果の向上を図るため、コストの重点化を行う施策領域 み3-1 開かれた市政の推進 創1-1 子どもの参画の推進 環2-1 地球温暖化対策の推進	【II】 成果の向上を図りつつ、コストは現状維持する施策領域 み3-2 健全な自治体の経営 創1-2 子育て支援の拡充 創1-3 学校教育の充実 環1-1 みどりの保全・活用 環1-2 みどりの空間の創出 安1-2 体系的な道路網の整備 安2-1 災害や地域の危機に強いまちづくりの推進 安2-2 防犯・交通安全の推進	【III】 成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域 ※該当する施策なし
	現状維持	【IV】 成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域 ※該当する施策なし	【V】 成果を維持しつつ、コストも現状維持する施策領域 み1-1 市民主体のまちづくりの推進 み1-2 協働のまちづくりの推進 み2-1 人権と平和の尊重 み2-2 国際化の推進 み2-3 男女平等参画社会の推進 創2-1 生涯学習環境の充実と主体的な学びの促進 創2-3 文化芸術活動の振興 笑1-1 地域福祉の推進 笑1-2 高齢者福祉の充実 笑1-3 障害者福祉の充実 笑1-5 暮らしの相談機能の充実 笑2-1 健康づくりの推進 笑2-2 高齢者の社会活動や生きがいづくりの充実 笑2-3 障害者の社会参加の拡大 環2-2 循環型社会の構築 環2-3 生活環境の維持 安1-1 住みやすい住環境の整備 安1-3 人と環境にやさしい交通環境の整備 活1-1 産業の振興 活1-2 新産業の育成	【VI】 成果を維持しながら、コストを抑制する施策領域 笑1-4 社会保障制度の運営
	絞り込み	【VII】 内容の見直しを図りつつ、コストの重点化を行う施策領域 ※該当する施策なし	【VIII】 内容の見直しを図りつつ、コストは現状維持すべき施策領域 創2-2 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進 活2-1 まちの魅力の創造	【IX】 内容の見直しを図り、コストを抑制すべき施策領域 ※該当する施策なし

5. 今後のまちづくりに関する意見

本計画の策定にあたっては、より多様な立場の市民の方が計画策定に関われるよう、未来の西東京市の担い手となる子どもや若い世代、それぞれの活動分野での知識・経験を有する市民や市民活動団体など対象とした様々な市民参加の場を設けました。また、これまで市政や市民参加に関わりの無かった市民の方にもアプローチできるような工夫を行いました。さらに、市民参加の機会を通して、参加者が学びや気づきを得たり、まちづくりへの主体的な参加につながるきっかけとなるよう取り組みました。

(1) 市民意識調査・中学生まちづくりアンケート

本市のまちづくり全般について、市民の考えや意見を把握するために、以下の調査を実施しました。

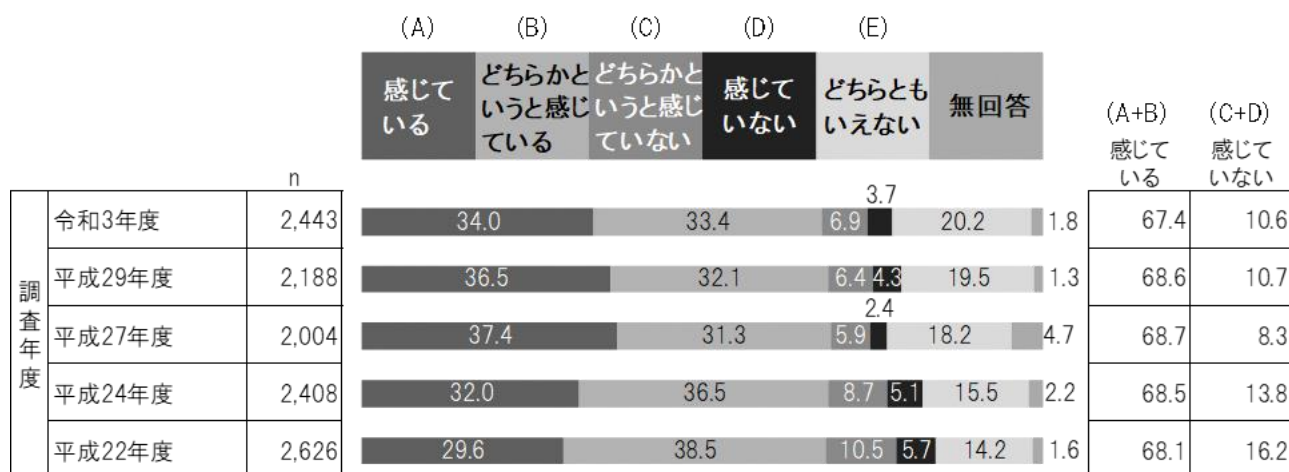
	調査対象	調査時期	回答数・回収率
市民意識調査	18歳以上の市民 5,000 人	令和3年11月	有効回答数：2,443 票 有効回収率：48.9%
中学生まちづくりアンケート	市内公立中学校（9校）に在籍する2年生 1,374 人	令和3年12月	有効回答数：1,218 票 有効回収率：88.6%

① 西東京市への愛着度

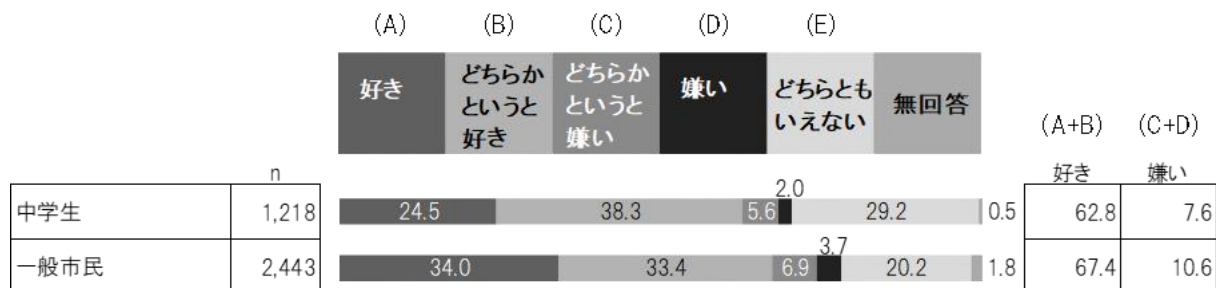
西東京市に愛着を『感じている』の割合は 67.4%であり、これまで最も高かった平成 27 年度調査と比較して 1.3 ポイント減少しています。一方、愛着を『感じていない』の割合は 10.6%であり、これまで最も低かった平成 27 年度調査と比較して 2.3 ポイント増加しています。

中学生では、西東京市を「好き」と「どちらかという好き」を合わせると 62.8%が『好き』と回答しており、市民意識調査と比較すると、『好き（愛着を感じている）』と回答した人の割合は中学生が 4.6 ポイント下回っています。

<市民意識調査の経年比較>



<中学生まちづくりアンケートと市民意識調査との比較>

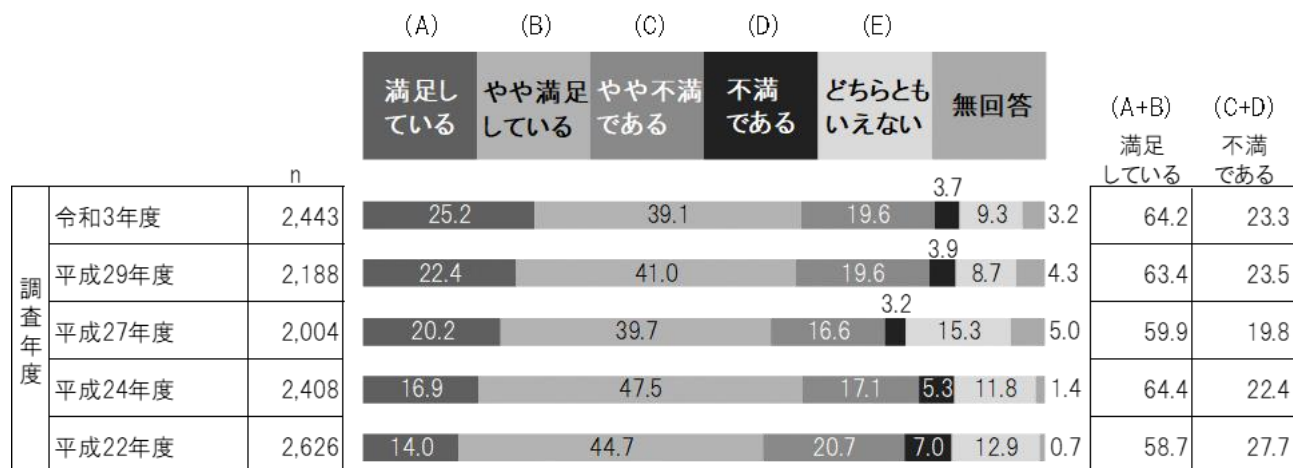


② 日ごろの住み心地

西東京市の日ごろの住み心地について『満足している』の割合は64.2%であり、これまで最も高かった平成24年度調査と比較して0.2ポイント減少していますが、「満足している」の割合は25.2%とこれまで最も高い結果となっています。

満足している理由としては、「買い物に便利である」最も多く、次いで、「まわりに緑や公園が多い」、「通勤・通学に便利である」が多くなっています。

<市民意識調査の経年比較>

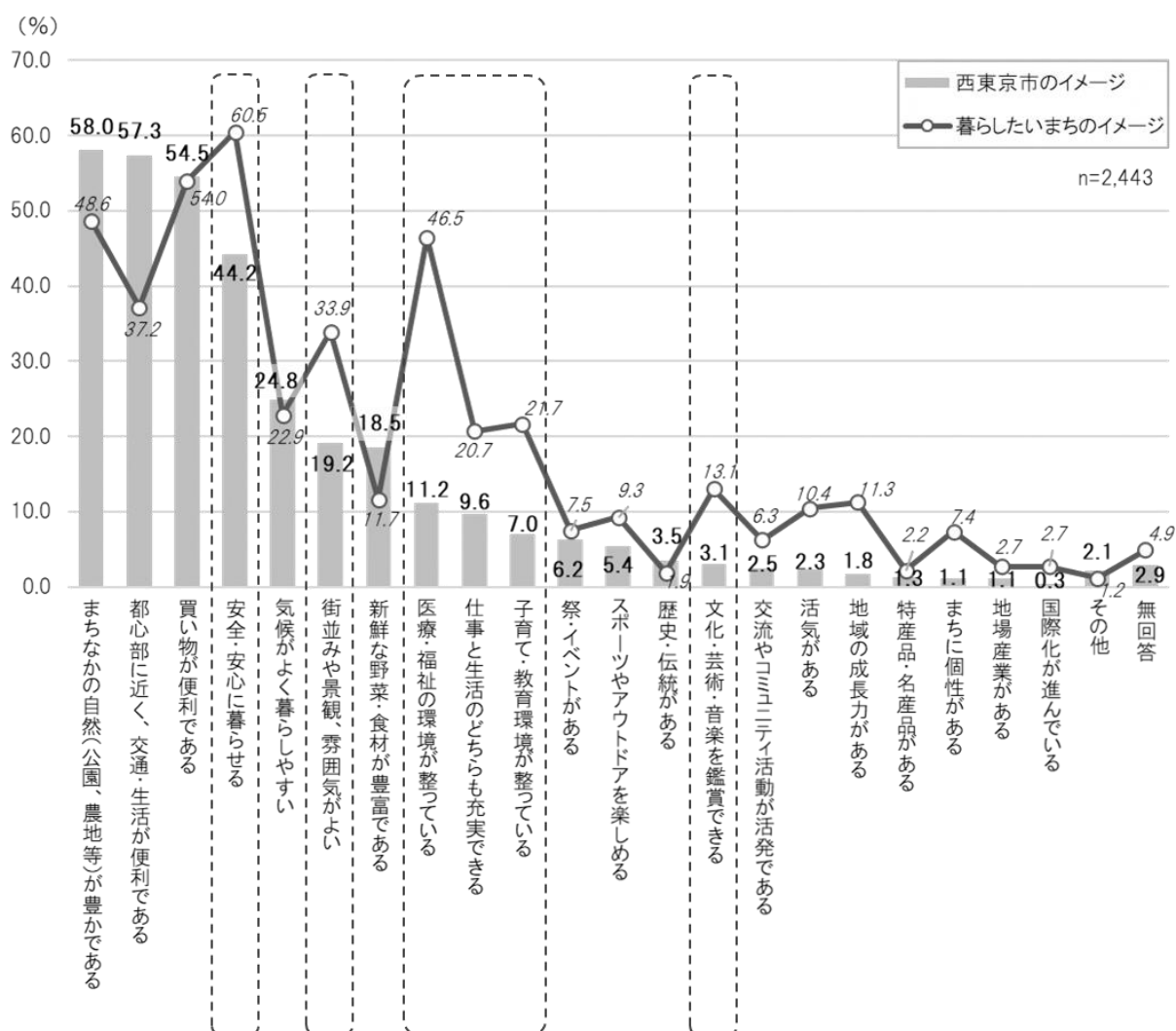


③ 西東京市の現在のイメージと暮らしたいまちのイメージ

現在の西東京市のイメージは、「まちなかの自然（公園、農地等）が豊かである」（58.0%）が最も多く、次いで「都心部に近く、交通・生活が便利である」（57.3%）、「買い物が便利である」（54.5%）となっています。一方、暮らしたいまちのイメージは、「安全・安心に暮らせる」（60.5%）が最も多く、次いで「買い物が便利である」（54.0%）、「まちなかの自然（公園、農地等）が豊かである」（48.6%）、「医療・福祉の環境が整っている」（46.5%）となっています。

西東京市の現在のイメージが暮らしたいまちのイメージを大きく下回っている項目は、「医療・福祉の環境が整っている」、「安全・安心に暮らせる」、「街並みや景観、雰囲気が高い」「子育て・教育環境が整っている」、「仕事と生活のどちらも充実できる」、「文化・芸術・

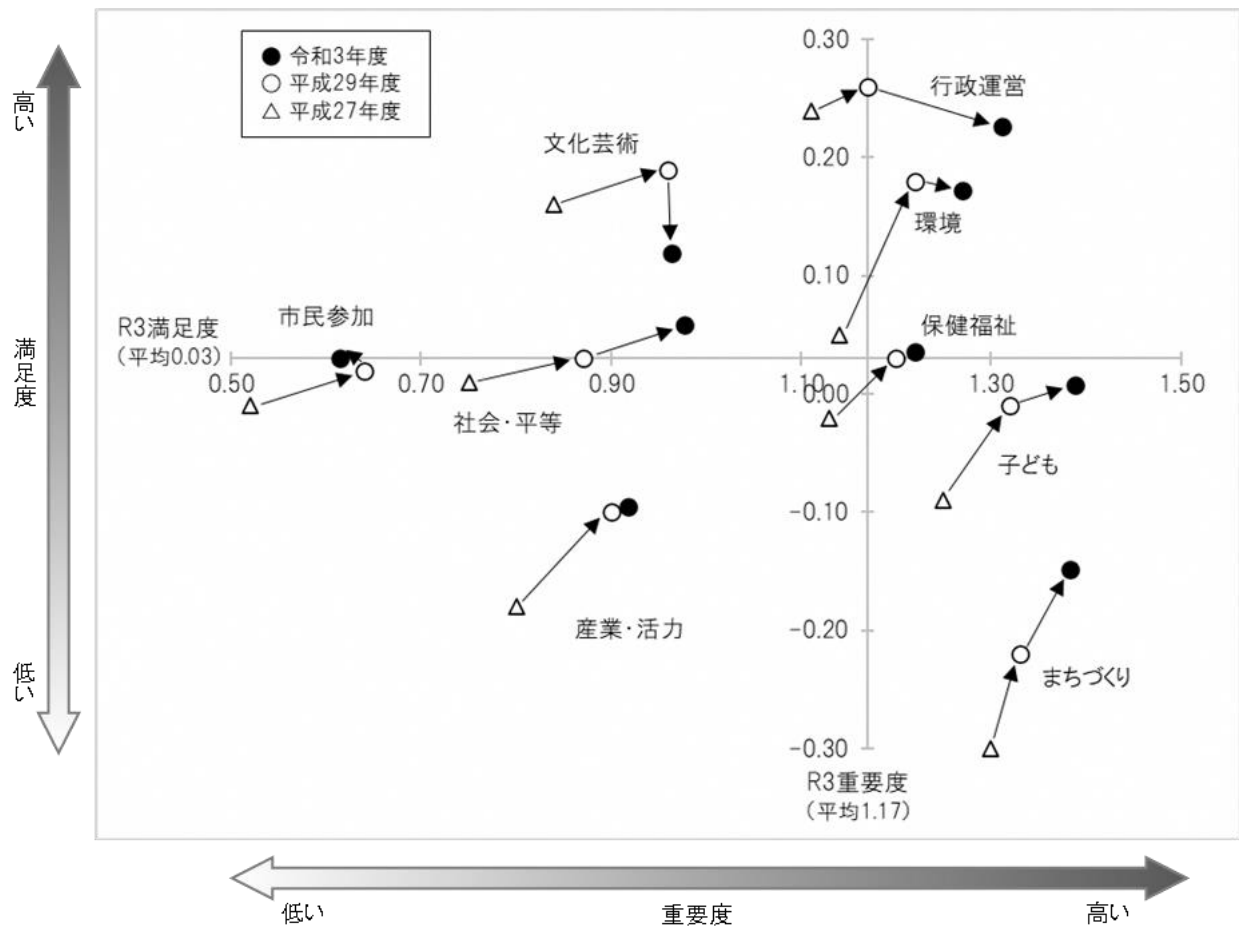
音楽を鑑賞できる」となっています。



④ 分野別の満足度・重要度

6 分野別に満足度と重要度の変化を見ると、満足度では5分野、重要度では7分野で、前回調査（平成 29 年度）より上昇しており、特に、満足度では『まちづくり』分野、重要度では『行政運営』分野、『社会・平等』分野で上昇しています。

平成 27 年度調査からの3か年を比較すると、満足度が上昇し続けているのは、『市民参加』、『社会・平等』、『子ども』、『保健福祉』、『まちづくり』、『産業・活力』の6分野、重要度が上昇し続けているのは、『社会・平等』、『行政運営』、『子ども』、『保健福祉』、『環境』、『まちづくり』、『産業・活力』の7分野となっています。特に、重要度が比較的高い『子ども』分野と『まちづくり』分野において、満足度が大きく改善されつつあります。



(2) 市民参加

各種の市民参加の取組を通して、「今後のまちづくり」や「西東京市が目指すべき姿」について、ご意見をいただきました。

① まちづくりシンポジウム

市民参加のキックオフイベントとして、令和4年7月2日（土）にコール田無にて、「西東京市のミライを語るシンポジウム～みんなで西東京市の可能性を見つけよう！～」を開催しました。

パネルディスカッションでは、市内で様々な活動をされている若い世代の方々に登壇いただき、若い世代がより活躍できるまちになるために必要なことや、西東京市がどんなまちになっていってほしいかなどをテーマに意見交換を行いました。

また、コロナ禍での開催を踏まえ、You Tube での当日ライブ配信を行うとともに、より多くの方に視聴いただけるようアーカイブ配信を実施しました。

② 市民ワークショップ

西東京市が目指すべき姿（将来像）やまちづくりの方向性、課題解決に向けた取組アイデアなどについての市民意見を把握するため、幅広い世代を対象に「西東京市のミライを考える『まちづくりワークショップ』」を開催しました。より多くの方に参加していただけるよう、2日間のプログラムを対面形式（令和4年8月実施）とオンライン形式（令和4年9月）の2回実施し、延べ約70名の方が参加し、意見交換を行いました。

③ 子どもワークショップ

次世代を担う小学5・6年生、中学生を対象に、SDGs を学びながら西東京市への関心を深めてもらうとともに、市が目指すべき姿（将来像）やまちづくりにとって重要なテーマについて、子どもの目線からの意見を把握するために「子どもワークショップ『西東京市のミライを考えよう！』」を実施しました。

1日目（令和4年7月実施）は、いこいの森公園にて SDGs ディスカバーウォーク（まち歩き）と西東京市クイズを通じて、西東京市や SDGs について学びました。また、2日目（令和4年8月実施）は、旗上げアンケートとグループワークを通じて、西東京市の将来の姿を考え、それぞれの思いを発表しました。

④ 企業・団体等ヒアリング

市内において各分野で活動する企業・団体等を対象に、現状と課題の共有、今後の方向性や取組アイデアについての意見交換を行うために、令和4年2月から3月にかけてグループヒアリングを行いました。

ヒアリングには42団体が参加したほか、アンケートには18団体から回答をいただきました。（計60団体）

【今後のまちづくりに関する主な意見】

	取組	主な意見
みんなでつくるまち	市民意識調査	・市民が地域に参加する仕組みを目指してほしい。 ・マイノリティや外国籍など、全ての市民が暮らしやすい社会を望む。 ・市政に関する情報をもっと若者の目につく方法で発信してほしい。 ・財政基盤を強くすることが、居住を選択する際の指標になる。将来の見通しを厳しく立て、市民も痛みを行政とともに共有すべき。
	中学生まちづくりアンケート	・市民全員が協力しあえる、活気にあふれたまちになってほしい。 ・差別のない西東京市になってほしい。 ・最先端の技術を取り入れる市になってほしい。
	まちづくりシンポジウム	・市民主体のまちづくりの仕組みをつくるためには、地域にしっかりとしたコミュニティを再構築することが必要。 ・多世代がまちづくりに関わっていくためには、単に楽しむイベントがあるだけでなく、しかけが必要。
	市民ワークショップ	・市民活動や地域コミュニティの拠点となる複合的な拠点があると良い。 ・子どものころから市民活動に触れていくことが必要。 ・まちづくりに関わる人を増やすためには、気軽に立ち寄れることやおしゃれであることが重要。
	子どもワークショップ	・住んでいて楽しいと思えるために、まちの中で差別が起こることないまちにしたい。
	企業・団体等ヒアリング	・日頃からの近所づきあいによる、お互いに助け合う地域づくりが重要。 ・将来を担う若い世代や中高生を対象とした意見集約が必要。
子どもが健やかに育つまち	市民意識調査	・働きながら子どもを産んで育てていくことができるまちを望む。 ・教育の充実、人間形成を大切に行ってほしい。 ・子どもたちが安心して暮らせる環境が必要。 ・小中学生だけでなく、地域の中で孤立しやすい大学生の居場所が必要。
	中学生まちづくりアンケート	・子どもでも西東京市で過ごしたいと思えるようなまちになってほしい。 ・大型ショッピングモールや映画館など、友達と遊んだり過ごしたりできる場所がほしい。
	まちづくりシンポジウム	・子どもが子ども時代に「楽しかった」と思うことが、その後の人生の豊かさにつながる。 ・あらゆることの基盤を成すのは教育であり、教育環境づくりが重要。
	市民ワークショップ	・子どもがSOSを出せて、それを受け取れる場所や仕組みが必要。 ・子どもが駄菓子屋などで買い物などの社会体験ができる場所が必要。 ・学校を拠点とした居場所づくりが必要。
	子どもワークショップ	
	企業・団体等ヒアリング	・不登校や引きこもりの児童生徒への支援充実が必要。 ・困窮する子どもを支援につなげる仕組みが必要。
笑顔で心豊かに暮らせるまち	市民意識調査	・高齢者（特に男性）の地域でのコミュニティの場所を多くしてほしい。 ・障害者にやさしいまちづくりを期待する。 ・地域医療体制の充実に力を入れてほしい。
	中学生まちづくりアンケート	・障害者も住みやすい、バリアフリーなまち。 ・誰もが「すごい！」というユニバーサルデザインの多いまち。
	まちづくりシンポジウム	・みんながいきいきと楽しめるまち。 ・若い世代も60歳以上も、多層的に躍進するまち。 ・運動の機会を増やし、健康寿命を伸ばすことが重要。
	市民ワークショップ	・高齢者や障害者の垣根を越えた交流の場が増えると良い。 ・移動が不自由な方の移動支援が必要。
	子どもワークショップ	・どの世代でもつながりを大切にしたい。
	企業・団体等ヒアリング	・地域福祉活動の担い手の発掘と育成、社会福祉事業に携わる人材の確保が特に重要。

	取組	主な意見
環境にやさしい持続可能なまち	市民意識調査	・将来に向けて、自然に近い環境で生活できることは西東京市の大きな強みだと思う。 ・屋敷林や農地などの緑を残していく方策をとってほしい。
	中学生まちづくりアンケート	・自然にも人にもやさしいまち、自然と共存できるエコなまちになってほしい。 ・ボールを使える公園や緑あふれる広場など、子どもがのびのびと過ごせる場所がほしい。
	まちづくりシンポジウム	
	市民ワークショップ	・農地を守る仕組みづくりや、後継者のいない農地を新規就農につなげる仕組みが必要。 ・財政状況を踏まえた公園の活用や維持管理への市民参加の促進が必要。
	子どもワークショップ	・自然が豊かなまち。 ・都市の発展と農業が共存し、バランスがとれたまち。
	企業・団体等ヒアリング	・子どもが自然や緑に親しめるような教育活動が必要。 ・連携して地球温暖化を抑制する活動に取り組むことが必要。
安全・安心で快適に暮らせるまち	市民意識調査	・街並み、景観整備及び快適な駅周辺の整備を進めてほしい。 ・誰もが歩きやすく運転しやすい道路整備を進めてほしい。 ・地域に空き家が増えつつあり、老朽化する前に早めに対策してほしい。
	中学生まちづくりアンケート	・公園や自然が多いところは残して、駅の周りや公共施設を発展させてほしい。 ・道が広く、自転車や歩行者が安全に歩けるまちになってほしい。
	まちづくりシンポジウム	・「安心・安全なまち」をイメージしたとき、防災への取組は不可欠。 ・ベッドタウンとして帰ってきたいまち。
	市民ワークショップ	・はなバスの運行本数や運行エリアの見直しが必要。 ・防災クイズやカルタなどを通して、防災意識を高めることが必要。
	子どもワークショップ	・どの世代にとっても移動手段が豊富で、市内で楽しく過ごせることが重要。
	企業・団体等ヒアリング	・災害時に備え、平時における関係づくりが重要。 ・外国人のための災害発生時の対応・支援策が必要。
活力と魅力あふれるまち	市民意識調査	・農業を継続したいと思う人が増えるよう、きめ細やかな支援が必要。 ・人が集まり活気あるまちにすることで、様々な波及効果があると思う。 ・図書館は、あらゆる世代において学びの場であり、利用しやすい施設にしてほしい。 ・市の歴史を見直し、保存し、観光資源として活用する取組が必要。
	中学生まちづくりアンケート	・まちの特産物や名所がもっと増えてほしい。 ・商店街がもっと栄えてほしい。 ・地域の人が一丸となって、地域の行事や祭りに取り組むまち。 ・子どもたちがスポーツをできるように、公園やスポーツ施設を増やしてほしい。
	まちづくりシンポジウム	・コロナ禍の2年半の産業・商業の停滞を盛り返していけるような活動のあるまち。
	市民ワークショップ	・小中学生が市内企業を知ることができる機会づくりが必要。 ・「女性が活躍できるまち」を西東京の特徴としてアピールする。 ・文化・芸術を身近に感じられるよう、屋外型アートフェアや市民参加のアートプロジェクトを実施したい。
	子どもワークショップ	・歴史を大切にすまち。 ・まず自分たちがまちの良さに気づき、それを周りの人に知ってもらうことが重要。
	企業・団体等ヒアリング	・駅を活かして商店街を活性化してほしい。 ・地域人材を見える化できるシステムや場があると良い。

6. 計画を推進するために

作成中

7. 基本計画の構成

作成中

8. 計画の読み方

作成中

基本計画（各論）

構成のパターンを示す想定（3パターン程度）

【パターン1】

現行計画(第2次総合計画前期基本計画)と同様の構成

施策 1-1-1 市民主体のまちづくりの推進

施策 目標	地域の絆を大切にするとともに、市民の活動の場や機会を充実させることで、市民が主体的にいきいきとまちづくりに係わることのできる共生のまちづくりをめざします。
----------	---

現状と課題

東日本大震災の教訓から、地域の力でまちを守ることへの関心が高まるとともに、地域の助けあい・支えあいや絆の重要性が再認識され、地域コミュニティ活動やボランティア・市民活動への関心が高まっています。

また、少子高齢化の進展や単独世帯の増加に伴い、高齢者の見守りや子育て支援、防災・防犯活動など、今後ますます地域が抱える課題が多様化・複雑化していくと見込まれる中、これらの解決に向けて市民の主体的な活動や協力をより一層促進する必要性が高まっています。

本市では、平成 25 年 3 月に市全体としてめざすべき地域コミュニティの方向や具体化のための取組を示した「西東京市地域コミュニティ基本方針」を策定し、地域協力ネットワークの設立に取り組むとともに、コミュニティ施設の改修や公共施設予約サービスの導入をはじめ、地域コミュニティ活動やボランティア・市民活動がしやすい環境づくりを進めてきました。

今後も、地域協力ネットワークの、地域を担う組織や団体との連携・協力体制を強化し、防犯・防災活動、地域コミュニティの担い手の発掘や育成、世代間交流の促進などさまざまな取組を充実させることにより、市民が主体的にいきいきと係わることのできるまちづくりを進めていく必要があります。

また、地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会・町内会などを通じて、生活に役立つ情報を市民へ提供するとともに、加入促進活動を進めるなど、地域コミュニティの活性化・再構築に向けた取組を充実させることが必要です。

施策推進のためのキーワード

- ◆地域コミュニティ活動、ボランティア・市民活動への支援
- ◆地域コミュニティの担い手の発掘や育成、世代間交流の促進
- ◆コミュニティ施設の充実

データ

成果指標

指標名	令和 4 年度実績値	令和●年度目標値
①自治会・町内会等の加入世帯の割合 地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会・町内会の加入世帯割合を増やします。		
②ボランティア・市民活動センター登録者数 市民のボランティア活動を活性化するため、ボランティアに関するコーディネートなどを行い、ボランティア登録者数を増やします。		

目標の実現に向けた取組み内容

●地域コミュニティ強化の取組を進めます

自治会・町内会などの地域活動に参加する市民が少なくなり、地域コミュニティにおける人と人とのつながりが希薄化しています。

一方で、東日本大震災の教訓から、地域の助けあい・支えあいや絆の重要性が再認識されました。

地域のコミュニティ活動の充実、防災・防犯や高齢者への支援、子どもの見守りなど、地域課題の解決に貢献するなど、さまざまな面から必要性や重要性が指摘されています。

地域を担う組織や団体との連携・協力体制づくりを進めるとともに、市民への情報提供や意識啓発などにより、地域コミュニティへの加入促進を図ります。

また、地域コミュニティの活動を促進するために、施設や環境の充実を図るとともに、担い手の発掘や育成、地域交流や世代間の交流などの促進に取り組みます。

●ボランティア・市民活動を推進します

地域コミュニティの再構築を進めるためには、市民の主体的な活動を活性化することが重要であり、市民主体の活動を進める上でボランティアは大きな役割を担っています。

ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなげるために西東京ボランティア・市民活動センターなどと連携し、ボランティア活動に関する情報提供や支援を行います。

また、地域の活動に次世代を担う子どもたちの参加機会を設け、ボランティア・市民活動を推進します。

関連する施策

施策 1-1-2：協働のまちづくりの推進

施策 5-2-1：災害や地域の危機に強いまちづくりの推進

施策 2-3-2：地域の教育力の向上

主要事務事業

事業名	事業概要	所管課
市民まつり実行委員会への支援	人と人とのつながりを大切にしたいまちづくりを目指し、「新しいふるさと創造」をテーマに、市民と市との協働による「西東京市民まつり」を開催します。	文化振興課
地域コミュニティ推進事業の充実	「地域コミュニティ基本方針」に基づき、地域コミュニティの再構築及び活性化を図り、住民や住民団体が行政と協働しながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組めるよう、自治会や地域協力ネットワーク等への支援を行います。	協働コミュニティ課
西東京ボランティア・市民活動センター事業への支援	西東京市社会福祉協議会が設置するボランティア・市民活動センター事業の運営を支援することで、ボランティア人材の育成、ボランティア活動の促進を図り、地域福祉を推進します。	生活福祉課

【パターン2】

「現状と課題」を箇条書きにし、見やすくする。また、「目標の実現に向けた取組内容」を取組内容の列挙のみとすることで、何に取り組むのかを分かりやすくする。

施策 1-1-1 市民主体のまちづくりの推進

施策 目標	地域の絆を大切にするとともに、市民の活動の場や機会を充実させることで、市民が主体的にいきいきとまちづくりに係わることのできる共生のまちづくりをめざします。
----------	---

現状と課題

- 東日本大震災の教訓から、地域の力でまちを守ることへの関心が高まるとともに、地域の助けあい・支えあいや絆の重要性が再認識され、地域コミュニティ活動やボランティア・市民活動への関心が高まっています。
- 少子高齢化の進展や単独世帯の増加に伴い、高齢者の見守りや子育て支援、防災・防犯活動など、今後ますます地域が抱える課題が多様化・複雑化していくと見込まれる中、これらの解決に向けて市民の主体的な活動や協力をより一層促進する必要性が高まっています。
- 本市では、平成 25 年 3 月に市全体としてめざすべき地域コミュニティの方向や具体化のための取組を示した「西東京市地域コミュニティ基本方針」を策定し、地域協力ネットワークの設立に取り組むとともに、地域コミュニティ活動やボランティア・市民活動がしやすい環境づくりを進めてきました。
- 地域協力ネットワークの、地域を担う組織や団体との連携・協力体制を強化し、防犯・防災活動、地域コミュニティの担い手の発掘や育成、世代間交流の促進などさまざまな取組を充実させることにより、市民が主体的にいきいきと係わることのできるまちづくりを進めていく必要があります。
- 地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会・町内会などを通じて、生活に役立つ情報を市民へ提供するとともに、加入促進活動を進めるなど、地域コミュニティの活性化・再構築に向けた取組を充実させることが必要です。

施策推進のためのキーワード

- ◆地域コミュニティ活動、ボランティア・市民活動への支援
- ◆地域コミュニティの担い手の発掘や育成、世代間交流の促進
- ◆コミュニティ施設の充実

データ

成果指標

指標名	令和 4 年度実績値	令和●年度目標値
①自治会・町内会等の加入世帯の割合 地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会・町内会の加入世帯割合を増やします。		
②ボランティア・市民活動センター登録者数 市民のボランティア活動を活性化するため、ボランティアに関するコーディネートなどを行い、ボランティア登録者数を増やします。		

目標の実現に向けた取組み内容

1 地域コミュニティの活性化

- 地域コミュニティの核である自治会への加入促進・啓発
- 自治会の設立支援
- 地域コミュニティの担い手の育成
- 自治会の円滑な運営支援
- 自治会館などの適正な維持管理の支援

2 地域コミュニティとの協働・連携

- 市民活動団体との協働・連携の促進
- 市民活動推進センターの機能の強化
- 公益事業補助金制度の活用促進
- 市民活動団体の運営・活動支援

関連する施策

施策 1-1-2：協働のまちづくりの推進

施策 5-2-1：災害や地域の危機に強いまちづ

施策 2-3-2：地域の教育力の向上

くりの推進

主要事務事業

事業名	事業概要	所管課
市民まつり実行委員会への支援	人と人とのつながりを大切にしたまちづくりを目指し、「新しいふるさと創造」をテーマに、市民と市との協働による「西東京市民まつり」を開催します。	文化振興課
地域コミュニティ推進事業の充実	「地域コミュニティ基本方針」に基づき、地域コミュニティの再構築及び活性化を図り、住民や住民団体が行政と協働しながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組めるよう、自治会や地域協力ネットワーク等への支援を行います。	協働コミュニティ課
西東京ボランティア・市民活動センター事業への支援	西東京市社会福祉協議会が設置するボランティア・市民活動センター事業の運営を支援することで、ボランティア人材の育成、ボランティア活動の促進を図り、地域福祉を推進します。	生活福祉課

【パターン3】

「現状と課題」は必要なポイントのみ記載する。また、「目標の実現に向けた取組み内容」から現状と課題の記述を省いて簡略化し、全体的に見やすい構成とする。

施策 1-1-1 市民主体のまちづくりの推進

施策 目標	地域の絆を大切にするとともに、市民の活動の場や機会を充実させることで、市民が主体的にいきいきとまちづくりに係わることのできる共生のまちづくりをめざします。
----------	---

現状と課題

- ▶ 市民の価値観やライフスタイルの多様化、コミュニティ意識の希薄化から、地域で集まる機会が少なくなり、市民の自治会に対する関心も低くなってきています。
- ▶ 各地域のコミュニティ施設の利用状況にはばらつきがあるため、利用条件の見直し等も踏まえ、利用者の利便性の向上に留意しながら、コミュニティ活動の拠点として更なる活性化を目指す必要があります。
- ▶ 施設によっては、経年劣化に伴う機能低下がみられるため、適切な施設の維持管理を行う必要があります。

施策推進のためのキーワード

- ◆地域コミュニティ活動、ボランティア・市民活動への支援
- ◆地域コミュニティの担い手の発掘や育成、世代間交流の促進
- ◆コミュニティ施設の充実

データ

成果指標

指標名	令和4年度実績値	令和●年度目標値
①自治会・町内会等の加入世帯の割合 地域コミュニティの中心的役割を担う自治会・町内会の加入世帯割合を増やします。		
②ボランティア・市民活動センター登録者数 市民のボランティア活動を活性化するため、ボランティアに関するコーディネートなどを行い、ボランティア登録者数を増やします。		

目標の実現に向けた取り組み内容

①コミュニティ活動の支援

町内会・自治会と地区協議会に対する支援を引き続き行います。また、地域ニーズとそれに対応する活動やサービスのマッチングが進むよう支援します。

②多様な主体による地域課題の解決

市民、各種団体、事業者、行政など多様な主体が地域課題の解決に向けて取り組める体制づくりを支援します。また、地区協議会が地域の中核として、地域課題の解決によりよく取り組めるような環境を整備します。

③地域での見守り・支え合い

地域の見守り・支え合い活動と協働することで、早期に地域の困りごとを把握し支援へつなげます。また、地域自らが地域の困りごとを把握できるよう、市民、事業者、行政などが地域の課題を話し合う機会を創出します。

そして、地域で把握した困りごとを適切な支援機関につなぐことができるよう、地域における相談支援体制を構築します。

関連する施策

施策 1-1-2：協働のまちづくりの推進

施策 5-2-1：災害や地域の危機に強いまちづ

施策 2-3-2：地域の教育力の向上

くりの推進

主要事務事業

事業名	事業概要	所管課
市民まつり実行委員会への支援	人と人とのつながりを大切にしたまちづくりを目指し、「新しいふるさとの創造」をテーマに、市民と市との協働による「西東京市民まつり」を開催します。	文化振興課
地域コミュニティ推進事業の充実	「地域コミュニティ基本方針」に基づき、地域コミュニティの再構築及び活性化を図り、住民や住民団体が行政と協働しながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組めるよう、自治会や地域協力ネットワーク等への支援を行います。	協働コミュニティ課
西東京ボランティア・市民活動センター事業への支援	西東京市社会福祉協議会が設置するボランティア・市民活動センター事業の運営を支援することで、ボランティア人材の育成、ボランティア活動の促進を図り、地域福祉を推進します。	生活福祉課